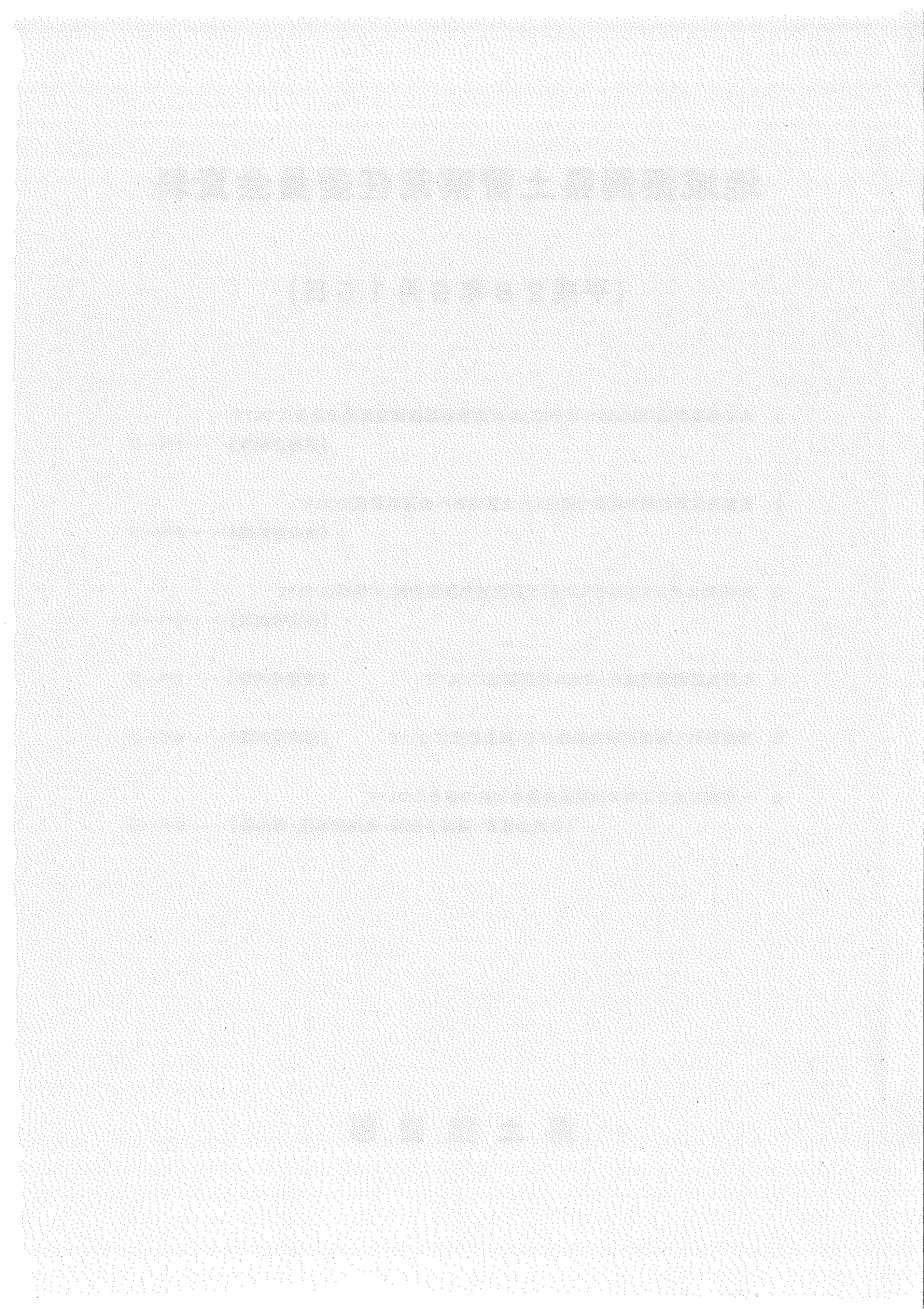


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年9月15日)

- 1 米子自動車道「蒜山IC～米子IC」の付加車線設置検証区間の決定について
【道路企画課】……1ページ
- 2 鳥取市鹿野町岡木地区で発生した土砂流出への対応状況について
【治山砂防課】……3ページ
- 3 NHK地上デジタル放送による「土砂災害危険度情報」の提供について
【治山砂防課】……5ページ
- 4 中野地区国際物流ターミナル供用開始について
【空港港湾課】……7ページ
- 5 境港市の水族館実現可能性(FS)調査結果について
【空港港湾課】……8ページ
- 6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【技術企画課・道路企画課・道路建設課・河川課】……9ページ

県土整備部



米子自動車道「蒜山 IC～米子 IC」の付加車線設置検証区間の決定について

平成28年9月15日
道路企画課

米子自動車道江府 IC 付近 3.4 km の区間が付加車線設置検証区間に選定されましたので、その概要について報告します。

高速道路の暫定2車線区間における付加車線設置の検証路線として、今年6月7日に、岡山米子線（賀陽 IC～北房 JCT、蒜山 IC～米子 IC）が全国4路線のうちの1路線に選定されていましたが、8月31日に「岡山米子道に関する道路交通渋滞対策鳥取県・岡山県合同部会」が開催され、付加車線を設置する区間が選定されました。

1 岡山米子道に関する道路交通渋滞対策鳥取県・岡山県合同部会

日時：平成28年8月31日（水）

場所：国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所

出席者：国土交通省、鳥取県、岡山県、鳥取県警察、岡山県警察、西日本高速道路(株)

2 付加車線設置検証区間

(1) 選定基準

従来の設置基準に加え、速度低下、事故発生リスクを勘案し、対策必要箇所を選定。

①速度低下：暫定2車線区間における速度が、近傍の4車線区間の平常時の平均速度に比べ、著しく低下（概ね▲25%）している箇所

②事故発生リスク：インターチェンジ等の分合流部での事故や反対車線側への飛び出し事故状況を確認

(2) 設置位置

江府 IC 付近 L = 3.4 km（江府 IC から蒜山 IC 側の4車線整備されている区間までの間）

	現 状	付加車線設置後
蒜山 IC～米子 IC 間	32.6 km	32.6 km
4車線化区間	(32.5%) 10.6 km	(42.9%) 14.0 km
対面通行区間	22.0 km	18.6 km

※今回の付加車線の設置により、7.5 km の区間が連続で4車線化。

※岡山道「賀陽 IC～北房 JCT」では、約9 km の区間（3箇所）に付加車線の設置が決定。

(3) 選定理由

①著しい速度低下

②江府 IC の分合流に伴う速度低下及び事故発生リスクの解消

賀陽IC 有漢IC 北房JCT 蒜山IC 江府IC 溝口IC 大山高原SIC 米子SIC

区間距離(km)	12.9	8.4		15.3	8.3	4.3	5.0
交通量	9,901	9,874		8,123	7,965	7,669	7,619
速度▲25% 延長割合(%)	66	77		64	22	0	26
死傷事故件数 (件)	3	5		4	2	0	0
死傷事故率 (件/億台キロ)	6.4	16.2		8.5	8.1	2.8	0.0

※交通量、死傷事故件数(率)はH25～H27年の3年平均

□：各項目の値が1～3番目となる区間

3 設置の効果

付加車線設置により、20%程度の速度回復が図られると予想(シミュレーション結果)

4 今後の予定

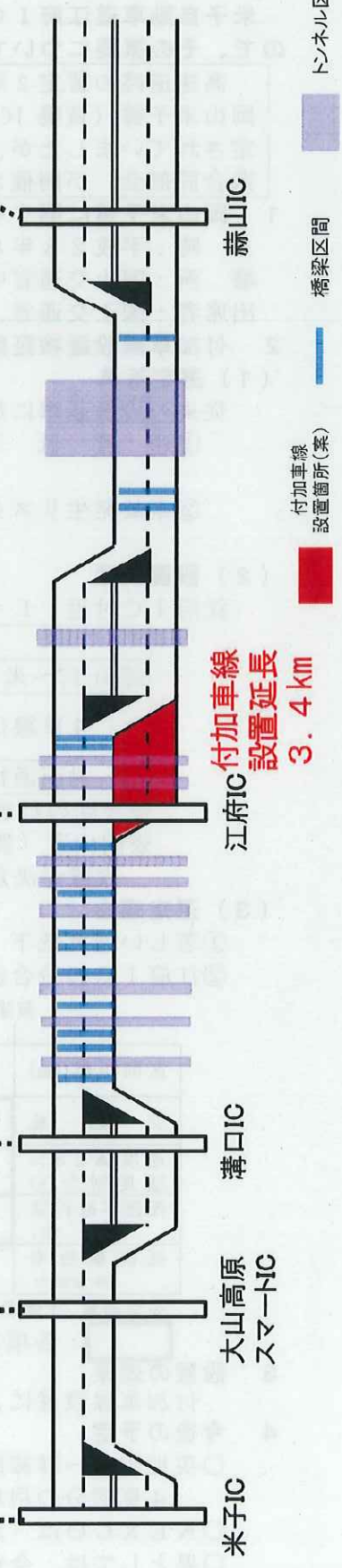
○現地測量→詳細設計→地元説明→工事着手(時期未定)

(4車線分の用地は取得済みのため、新たな用地買収は生じない。)

○NEXCOは「およそ5年間での整備を目指したい。」としている。

○県としては、今後とも全線4車線化に向けて、付加車線の整備時期、整備後の検証方法等について引続き情報収集に努め、積雪等防災の観点などの要素も踏まえた安全・安心な高速道路ネットワークの実現を目指して取り組んでいく。

【参考】付加車線設置箇所(案)【米子自動車道(蒜山IC~米子IC・JCT)】



鳥取市鹿野町岡木地区で発生した土砂流出への対応状況について

平成28年9月15日
治山砂防課

平成28年9月13日に鳥取市鹿野町岡木地区で発生した土砂流出に対する対応について、現在の状況を報告します。

1 土砂流出の状況

- 発生日時：平成28年9月13日（火）午前1時頃
- 発生場所：鳥取市鹿野町岡木
- 現地状況：山の斜面から、幅10m、法長20m、深さ2m程度の土砂崩落が発生
その土砂が里道を流下し、約100m先の市道付近まで到達
家屋上部の里道に崩落土砂の一部(10㎡程度)が堆積
- 被害状況：人身・家屋被害なし
※土砂流出時に、家屋や倉庫の側面に土砂が飛散している状況は見受けられるが、家屋等に損傷はない模様
- 避難状況：9月13日の現地調査を踏まえ、午前11時10分 避難勧告発令 3世帯(12名)が岡井公民館に避難中

2 対応状況

○応急対応（鳥取市：9月14日時点）

<対応中のもの>

- ・家屋付近の土砂撤去（9月14日完了）
- ・泥流の家屋流入防止のための土のう設置(9月14日完了)

<対応準備中のもの>

- ・家屋への崩壊土砂流入を防止する大型土のうの設置
- ・崩壊箇所下流の里道に堆積している崩落土砂の撤去

○避難者への対応

[9月13日]

- ・鳥取市が、避難されている3世帯に対して、土砂流出の状況や今後の応急対応について説明会を開催

[9月14日]

- ・藤村鳥取大学名誉教授、県土整備部及び鳥取市で合同現地調査を行い、応急対応状況の確認及び周辺を含めた斜面判定を行い、応急対応完了後の避難勧告解除の可能性を協議した。
- ・避難住民の方へ調査結果の説明に併せて、雨量や土砂災害危険度情報等の防災情報の確認方法など当面の留意事項を説明した。

3 今後の対応

○復旧対応（鳥取県）

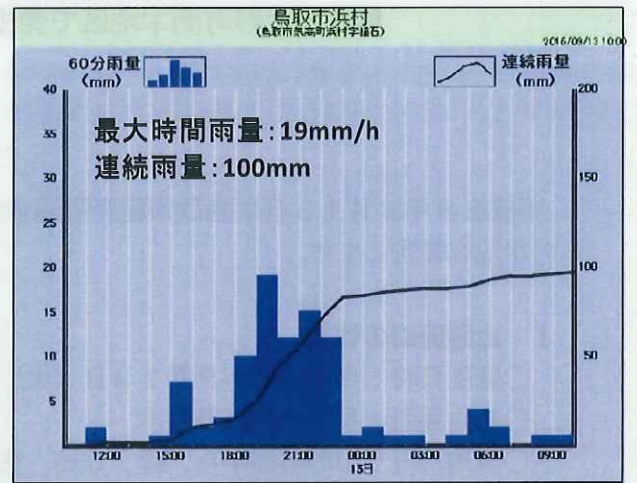
国土交通省の「災害関連緊急対策事業」採択の可否について相談中

→採択されれば、今年度追加予算として交付される見込み(通常 申請後1～2ヶ月程度)

○避難勧告への対応

避難勧告解除については、鳥取市が進めている応急対応の進捗状況と台風16号の進路を勘案しながら鳥取市が判断する。

土砂流出及び応急対応の状況



NHK地上デジタル放送による「土砂災害危険度情報」の提供について

平成28年9月15日
治山砂防課

1. 目的・概要

土砂災害から住民の生命を守るため、土砂災害発生の危険性が高まっているときに、市町が避難勧告を発表する際や住民の自主避難の判断目安となることを目的として、平成20年2月より鳥取県と鳥取地方气象台と共同で「土砂災害警戒情報」を発表している。

また、これを補足し、地域の詳細な土砂災害発生の危険度をお知らせする「土砂災害危険度情報」について、インターネットサイト、携帯電話及びケーブルテレビ等を活用して情報提供している。

このたび新たに、この「土砂災害危険度情報」について、近年の土砂災害の頻発を踏まえ情報提供の強化としてNHK地上デジタル放送による情報提供を行うこととしたもの。(9月15日より配信予定)

2. 内容

NHK鳥取放送局とデータ連携を行い、地上デジタル放送(データ放送)でどの地域が危険か一目で確認できるよう「土砂災害危険度情報」※を地図で表示する。

これにより県内の危険度が一目でわかり、自らが避難行動する「自助」、住民で相互に助け合う「共助」への一助となることが期待される。



※「土砂災害危険度情報」

土砂災害の発生する危険性が高まっているエリアを5kmメッシュでレベル判定したものを。

【土砂災害危険度】

- 土砂災害の発生危険基準を超過
- 土砂災害の発生危険基準を超える見込み
- 大雨警報(土砂災害)の基準を超過
- 大雨注意報の基準を超過

操作方法

1. NHK総合テレビにチャンネルを合わせ、リモコンの『d』ボタン(データ放送)を押します。
2. リモコンで『防災・生活情報』を選択します。
3. リモコンで『土砂災害危険度情報』を選択します。

3. 情報提供についてお知らせの予定

県ホームページにて周知するとともに、市町防災関係部署、地域住民等へチラシを配布するなど、県民へ広くお知らせする。

4. その他の放送局との連携状況

県内各ケーブルテレビにおいては、危険度情報(文字情報)の提供及び連携を行っている。

また、県内民放テレビ局については、連携の可能性について調整しているが、現状では民間企業であるため困難。

【ケーブルテレビでの配信状況】

H23年9月~	日本海ケーブルテレビネットワーク(株)	鳥取市
H25年9月~	鳥取中央有線放送(株) (株)中海テレビ放送	湯梨浜町,琴浦町,北栄町 米子市,大山町,南部町,伯耆町,日南町
H26年11月~	全関西ケーブルテレビビジョン	八頭町

(調整中)

NHK地上デジタル放送による 土砂災害危険度情報の提供



NHK鳥取放送局の地上デジタル放送（データ放送）を通じて、ご家庭のテレビで、大雨による土砂災害発生の危険度をリアルタイムに確認できます。

土砂災害危険度情報とは

土砂災害警戒情報(※)の内容を補足する情報として、地域の詳細な土砂災害発生の危険度を情報提供します。

土砂災害警戒情報



市町ごとの情報提供

土砂災害危険度情報

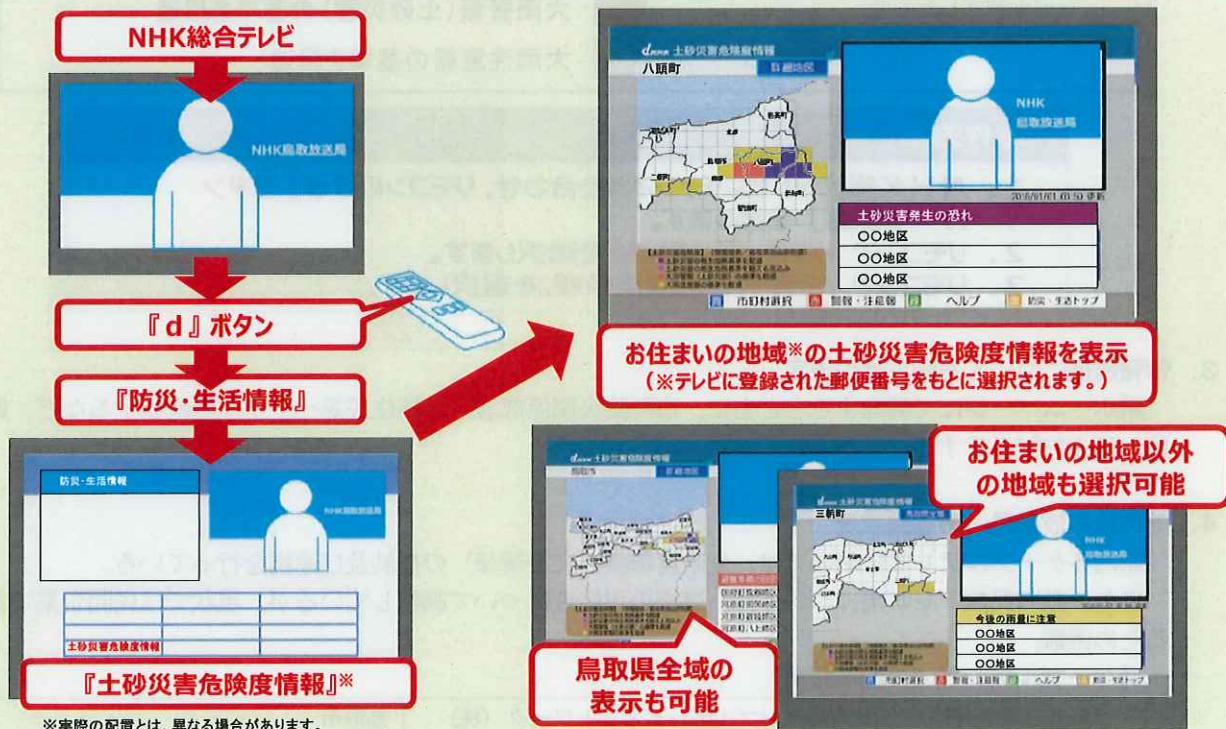


5kmメッシュごとの情報提供

危険度情報の表示	
レベル3 土砂災害発生の恐れ	土砂災害発生や倒壊の目安
レベル2 避難開始の目安	土砂災害発生や倒壊の目安
レベル1 避難準備の目安	大雨発生の目安
注意 今後の雨量に注意	大雨注意報の目安

操作方法

1. NHK総合テレビにチャンネルを合わせ、リモコンの『d』ボタン（データ放送）を押します。
2. リモコンで『防災・生活情報』を選択します。
3. リモコンで『土砂災害危険度情報』を選択します。



土砂災害警戒情報(※) 大雨による土砂災害発生の危険性が高まった時、鳥取県と鳥取地方気象台が共同発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、気象や雨量の状況に注意し、早めに避難して下さい。

鳥取県県土整備部治山砂防課 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

TEL : (0857)26-7819 FAX : (0857)26-8130 E-Mail : chisansabou@pref.tottori.jp

中野地区国際物流ターミナル供用開始について

平成28年9月15日
 空港港湾課
 (境港管理組合)

「境港」における外貿貨物(原木等)需要の増加にともない、平成24年度から中野地区で整備をすすめていた国際物流ターミナル(-12m)が平成28年9月11日に供用を開始したので報告します。

新たな大水深岸壁の供用により、昭和南1号岸壁(-13m)に限られていた大型原木船と木材チップ船の船混みにより発生していた、沖待ちや喫水調整による経済損失を解消するとともに、新たなふ頭用地の整備により、ふ頭用地不足により発生しているふ頭間の横持や貨物の混在を解消し、原木、木材チップ、リサイクル貨物の物流の効率化が図られ、原木等の輸入増が見込まれています。

なお、同日関係者による供用式典が開催され、今後の発展に期待する意見が出されました。

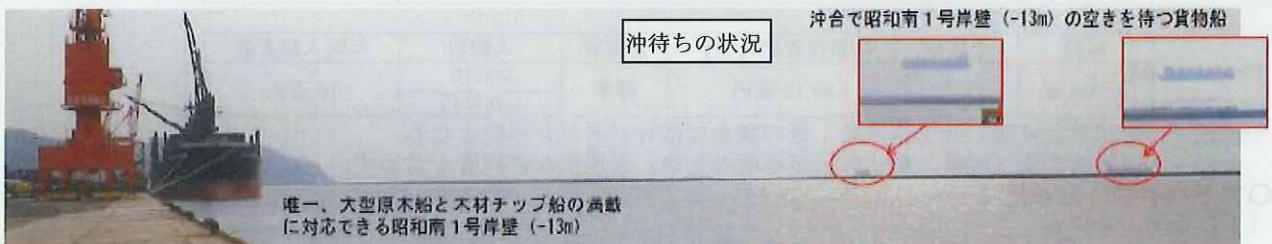
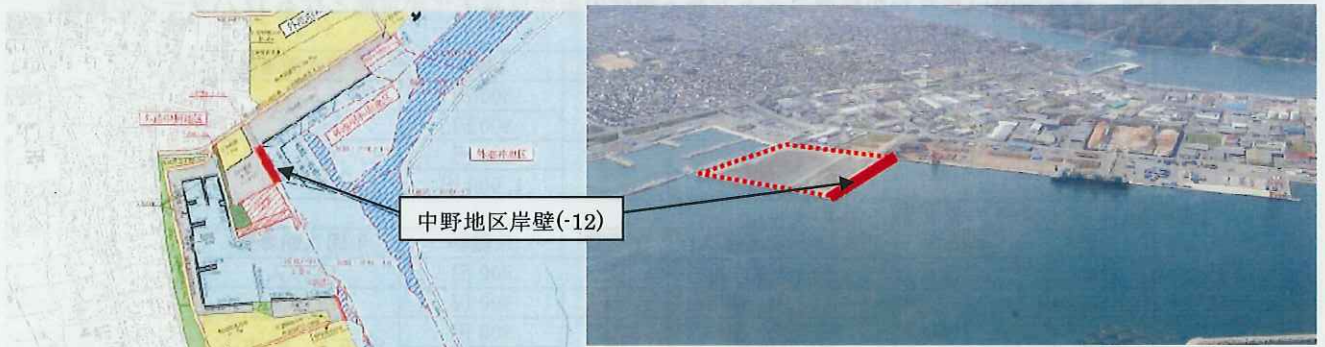
【中野地区国際物流ターミナル整備事業概要】

整備内容：岸壁(-12m)、泊地(-12m)、臨港道路、ふ頭用地

事業期間：平成24年度～平成28年度

総事業費：85億円(うち【直轄】：60億円、【管理組合】：25億円)

箇所	内容	経費(億円)	事業期間(年度)
【直轄】岸壁・泊地整備	岸壁(-12m)240m、泊地(-12m)	60	H24～H28
【管理組合】(補助)臨港道路	340m	1	H28
(起債)ふ頭用地整備	ふ頭用地 9.6ha	24	H26～H28
計		85	



境港取扱貨物量 3,738千トン(2015年 対前年比3.5%増)
 原木取扱量 354千トン 輸入 日本海側1位(全国4位) 2015港湾統計
 木材チップ 1,374千トン 輸入 日本海側2位(全国5位) "
 (紙・パルプ輸出：日本海側2位(全国6位)、水産品輸出：日本海側5位(全国14位))

【大型クルーズ客船対応】

中野地区への大型クルーズ客船受入検討を5月補正予算により実施しているところですが、平成28年度国補正予算(経済対策)において、受入に必要な係船柱の設置等を国直轄事業として要求中であり、設置後は11万トン(ダイヤモンド・プリンセス級)までの係留が可能となり、利用調整が整わず発生している「お断り」の解消を図ります。(国補正(直轄事業)に必要な管理費負担金予算を9月定例議会上程中。)

境港市の水族館実現可能性（F S）調査結果について

平成28年9月15日
空 港 港 湾 課
(境 港 管 理 組 合)

「みなとを核とした官民連携による賑わいづくり」計画において、交流・賑わい施設の一例として示された「身の丈にあった境港らしい水族館構想」について、実現可能性を検討するため建設位置、規模、収支シミュレーション等によるF S調査により、運営方法によっては単年度黒字による運営が可能であるとした想定を確認するとともに、水族館建設に対してアドバイザー会議において意見をいただいた。

【F S調査概要】

○設定条件

- (1) 規模 延床面積 700 m²、1,000 m²、1,500 m²、2,000 m²
(2) 建設位置 旅客ターミナル周辺3か所で比較検討

	位置	規模等
候補地A	夢みなとタワー（多目的ホール）	700 m ² :床の荷重制限から小規模水槽に限定
候補地B	旅客ターミナル隣接（ターミナル別棟）	1,000~2,000 m ²
候補地C	夢みなと公園	1,000~2,000 m ²

- (3) 入館者数 背後人口、近隣施設や同規模水族館の利用状況を考慮し、規模別に入館者数を推計
延床面積 700~1,500 m²の場合：5~10万人/年、2,000 m²の場合：15~20万人/年



○収支結果

規模、建設位置の組み合わせに対し、①初期投資額を標準コスト or 低コストとした場合と②運営費を標準コスト or 低コストとした場合の収支シミュレーションを実施。

単年度黒字となるパターンは18通り。

- ・700 m² : 夢みなとタワー内であり、床荷重の制限がある他、将来の拡張も困難。
- ・1,000~1,500 m² : 初期投資は標準コストでも運営費を低コスト化すること、または、運営費を標準コストとしても入館者数を増やすことで黒字化は可能。
- ・2,000 m² : いずれの組み合わせでも単年度黒字化は可能であるが、規模が大きくなるため、初期投資が大きい（リスクが高い）。

初期投資額、運営費のいずれかが標準コストである場合の単年度黒字化が可能となる12パターンの詳細。

【初期投資額：標準×運営費：標準】

規模	候補地	初期投資額【標準】	運営費	入館料	年間入館者数
700 m ²	A	約6億円	標準	600円	10万人
				800円	
2,000 m ²	B, C	約20億円	標準	800円	15万人
				1,000円	

【初期投資額：標準×運営費：低】

規模	候補地	初期投資額【標準】	運営費	入館料	年間入館者数
1,000 m ²	B, C	約10億円	低	800円	10万人
1,500 m ²				800円	
2,000 m ²				800円	
	1,000円				

【初期投資額：低×運営費：標準】

規模	候補地	初期投資額【低】	運営費	入館料	年間入館者数
2,000 m ²	B, C	約13億円	標準	800円	15万人
				1,000円	

※初期投資額：低で運営費：低の場合では6パターン可能となる。

※施設諸元（規模、形状等）が不明のため、大規模な修繕費を含めず。

○アドバイザーの意見

(1) 規模・コスト

- ・小さく作り、水族館の利益で徐々に拡張、進化する水族館として計画することで、事業主体に対してリスク管理の提言とする。
- ・身の丈の規模としては900~1,000 m²程度。規模は小さくても、やり方によっては集客可能であり黒字化も可能。
- ・運営を従来のコストから低コストに抑えることに関し、何らかのコストを抑えられるという根拠があるのであれば良いが、それがなければ、低コストで見るとはリスクとなる。（低コスト運営には経験と熱意がなければ実現が難しい）
⇒まずは、必要最小限の規模とし、状況に応じて拡張等を実施する手法がある。

(2) まちづくり・賑わいづくり

- ・水族館に来る人はこの近辺に泊まるのか、立ち寄りで終わるので波及効果が大きく異なる。水族館単体ではなく、セットで滞在時間を増やすような境港全体としてのまちづくりとして考えていくことが重要。
- ・境港市では大きなプロジェクトが同時期に行われることもあり、2020年を見据え、まちのブランドを高めていける可能性がある。そのためにもこのエリアの総合プロデュースをしていく必要がある。
⇒水族館を含めたまちづくりの中で検討していくことが必要。

○今後について

境港市のまちづくりにおける水族館整備の如何について、F S調査結果を受けて出される境港市の判断を尊重しつつ、仮に整備をする方針となれば、県として応分のサポートを検討していく。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部						
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要	
道路企画課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	国道181号(伯耆橋工区)橋梁床版工事(防災安全交付金)	西伯郡 伯耆町 大殿	株式会社平井組 代表取締役 西澤 賢史	112,212,000円 (予定価格) 121,464,360円	平成28年8月31日 ~ 平成29年3月24日	平成28年8月30日	制限付 一般競争入札 (15社)	
道路企画課 〔西部総合事務所 日野派興センター 日野県土整備局〕	県道上徳山俣野江府線(南向橋)耐震補強工事(交付金橋梁補修)	日野郡 江府町 俣野	県道上徳山俣野江府線(南向橋)耐震補強工事(交付金橋梁補修)ピ工三菱・馬野建設特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社ピエース三菱鳥取営業所 所長 水野 敦郎	137,700,000円 (予定価格) 138,532,680円	平成28年8月24日 ~ 平成29年3月15日	平成28年8月24日	制限付 一般競争入札 (1社)	
道路建設課 〔鳥取県土整備 事務所〕	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(1工区)(補助)	岩美郡 岩美町 浦富	株式会社大昇工業 代表取締役 高田 重利	183,276,000円 (予定価格) 198,484,560円	平成28年8月3日 ~ 平成29年3月17日	平成28年8月2日	制限付 一般競争入札 (10社)	
道路建設課 〔鳥取県土整備 事務所〕	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(2工区)(補助)	岩美郡 岩美町 浦富	美穂建設株式会社 代表取締役 田中 直美	182,952,000円 (予定価格) 198,226,440円	平成28年8月8日 ~ 平成29年3月17日	平成28年8月8日	制限付 一般競争入札 (9社)	
道路建設課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	県道鳥取鹿野倉吉線(片柴2工区)橋梁上部工事(波関橋)(交付金改良)	東伯郡 三朝町 片柴	県道鳥取鹿野倉吉線(片柴2工区)橋梁上部工事(波関橋)(交付金改良)日本ピエース・打吹建設特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社日本ピエース鳥取営業所 所長 石井 和正	139,536,000円 (予定価格) 151,572,600円	平成28年8月19日 ~ 平成29年3月15日	平成28年8月19日	制限付 一般競争入札 (5社)	
河川課 〔八頭県土整備 事務所〕	八東川河川改修工事(瀬戸橋上部工)	八頭郡 八頭町 牟福	八東川河川改修工事(瀬戸橋上部工)オリエンタル白石・藤原組特定建設工事共同企業体 代表者 オリエンタル白石株式会社鳥取営業所 所長 杉浦 章	171,180,000円 (予定価格) 183,779,280円	平成28年8月10日 ~ 平成29年8月21日	平成28年8月10日	制限付 一般競争入札 (3社)	

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
技術企画課 (中部総合事務所) (県土整備局)	県道泊瀬見青谷線道路災害復旧 工事(3工区)(27年災第1号)	東伯郡 湯梨浜町 筒地	県道泊瀬見青谷線道路災害復旧工 事(3工区)(27年災第1号)ライト・サ ンイン技術特定建設工事共同企業体 代表者 ライト工業株式会社鳥取営業所 所長 村上 明	(当初契約額) 181,440,000円 (第1回変更後契約額) 205,866,360円 (変更額) 〔 24,426,360円〕	平成28年1月28日 ~ 平成28年10月11日 (変更後工期) 平成29年1月31日	(当初契約年月日) 平成28年1月28日 (第1回変更契約年月日) 平成28年8月2日	
道路建設課 (鳥取県土整備 事務所)	国道178号(岩美道路)橋梁下部 工事(3工区)(補助)(経済対策)	岩美郡 岩美町 浦富	株式会社原田建設 代表取締役 原田 實	(当初契約額) 110,160,000円 (第1回変更後契約額) 132,765,480円 (変更額) 〔 22,605,480円〕	平成28年3月28日 ~ 平成29年1月16日 (変更後工期) 平成29年2月26日	(当初契約年月日) 平成28年3月28日 (第1回変更契約年月日) 平成28年8月26日	